

平成20年9月
袋井市議会定例会
一般質問通告内容

袋井市議会

一般質問通告議員

9月8日（月）

質問順序				ページ
1番	鈴木妙子	議員	1
2番	寺井雄二	議員	3
3番	伊豫田貞雄	議員	4
4番	高橋美博	議員	5
5番	広岡宥樹	議員	7
6番	戸塚文彦	議員	9
7番	大庭通嘉	議員	11

9月9日（火）

質問順序				ページ
8番	浅田二郎	議員	13
9番	兼子春治	議員	14
10番	芝田禮二	議員	15
11番	竹原和義	議員	17
12番	廣岡英一	議員	18
13番	高木清隆	議員	19
14番	大場正昭	議員	20

9月10日（水）

質問順序				ページ
15番	寺井紗知子	議員	22
16番	村松尚	議員	23

質問順序	1	議席番号	20	質問者	鈴木妙子
主 題	要 旨				答弁者
1 読書	<p>(1) 子供の読書環境</p> <p>ア 保育園、幼稚園、子育て支援センターにおける 図書充実と読み聞かせの推進状況</p> <p>イ 小中学校における朝の読書運動の取り組みとその 効果について</p> <p>ウ 学校図書館整備状況</p> <p>(ア) 図書購入費の予算措置率</p> <p>(イ) 図書標準の達成率と課題</p> <p>(ウ) 学校司書の配置状況と今後の展開</p> <p>(2) 公立図書館</p> <p>ア 市立図書館のテーマ、特色、将来像</p> <p>イ 外国人や障がい者、子供などに対するサービス と館内のバリアフリーについて</p> <p>ウ 利用状況と蔵書について</p> <p>(ア) 貸出数と図書館への登録率</p> <p>(イ) 利用促進と蔵書資料充実のための現状と取 り組み</p> <p>(ウ) 蔵書点検の目的と効果、課題</p> <p>エ レファレンスの活用状況と課題</p>				教育長
2 安心、安全な暮らし	<p>(1) 消費生活対策</p> <p>ア 消費生活センターにおける相談事例と件数</p> <p>イ 近年の相談傾向と年齢層についての分析</p> <p>ウ 消費トラブル防止のための意識啓発と情報発信</p> <p>エ 多重債務問題における関係機関との連携</p> <p>(ア) 庁内での問題共有と担当部署間の連携につ いて</p> <p>(イ) 弁護士、司法書士とのネットワーク</p> <p>(2) DV対策</p> <p>ア DV被害の実態と対応、取り組み</p> <p>イ 女性相談窓口の設置について</p> <p>(3) 振動対策</p> <p>ア 延久橋南交差点のバンプ舗装</p> <p>(ア) 設置目的と効果、振動との因果関係</p> <p>イ 振動軽減のための道路再舗装計画 (延久橋南交差点を基点とした北東道路)</p>				市長

質問順序	1	議席番号	20	質問者	鈴木妙子
主 題	要 旨				答弁者
2 安心、安全な暮らし	(4) 街路樹と交通安全 ア 街路樹と交通安全 (ア) 堀越国本線の堀越付近における街路樹について				市長
	(5) 子供の暑さ対策 ア 学習環境 (ア) 小中学校における夏の教室温度の現状と課題、対策について イ 熱中症対策 (ア) 小中学校における熱中症被害状況と対策について (イ) 熱中症指標計の配備				教育長
3 環境	(1) 資源ごみ ア 資源ごみステーションの設置 イ 事業所、スーパーによる協力体制について (2) 粗大ごみ ア 粗大ごみの戸別回収について				市長

質問順序	2	議席番号	16	質問者	寺井雄二
主 題	要 旨				答弁者
1 環境問題	(1) 畜産振興問題について ア 家畜排泄物の利用の促進を図るための基本方針の推進状況について「10年間」（平成20年度最終年度） (ア) 地域環境に対する適切な配慮はどのようになされたか。 (イ) 堆肥の利用促進が図られたか。 (2) 畜産環境対策協議会について ア 協議会の目的・立場について イ 協議会の今後の悪臭との取り組みについて				市長
2 道路問題	(1) 道路整備について ア 県道中野諸井線（富里中地域）の改良工事の取り組みはどのようにされるのか。 イ 市と地元の話し合いについてどのよう計画されていくのか。				市長
3 消防団問題	(1) 消防団団員の確保について ア 消防団団員確保に伴う協力事業所表示制度導入の考え方について イ 消防団OBを活用した機能別消防団制度導入の考えについて				市長
4 老人会問題	(1) 老人クラブ連合会事務局について ア 老人クラブ連合会事務局への支援について				市長

質問順序	3	議席番号	25	質問者	伊豫田貞雄
主 題	要 旨				答弁者
1 行政問題	<p>(1) 市長の政治姿勢</p> <p>ア 新市初代市長として一期を総括し、具体展望は。</p> <p>(ア) 協働のまちづくりに向け、七条の公約の評価はどうか。</p> <p>(イ) 来年4月執行の市長選に向けての意志はどうか。</p> <p>(2) 債権対策</p> <p>ア 税・負担金滞納整理について</p> <p>(ア) 市税、各負担金の滞納実態は。</p> <p>(イ) 税務課徴税管理係充実について 静岡地方税滞納整理機構の受け皿として (仮) 袋井市債権管理対策係の設置の考えは。 例：電話催促 訪問催促</p> <p>イ 資産経営からみて有償借地について</p> <p>(ア) 市が借地している土地の面積、借上料は。</p> <p>(イ) 市の施設として安定的運営をするため、積極的に取得するか。また、処理する考えは。</p>				市 長

質問順序	4	議席番号	10	質問者	高橋 美博
主 題	要 旨				答弁者
1 職員の労務管理について	<p>(1) 「心の病」の対策について</p> <p>ア 「心の病」を抱える職員の数はどうか。また、それによる休職者の数はどうか。(この間の動向も含め)</p> <p>イ この要因・原因をどうとらえているか。</p> <p>ウ メンタルヘルス講習等、対策の効果はどうか。</p> <p>エ 「心の健康づくり計画」を定めているか。</p> <p>オ 職場復帰支援に関する体制や規定の整備はできているか。</p> <p>(2) 職員の定数管理について</p> <p>ア 職員削減目標とその実績、実数はどうか。</p> <p>イ 過度の削減は仕事量に基づく適切な人員配置、長期的人事政策に照らし問題はないか。</p> <p>(3) 成果主義賃金について</p> <p>ア 導入した目的は何か。</p> <p>イ 勤務評価はどのように実施され、給与にどう反映させているのか。</p> <p>ウ 公務労働に成果主義はなじまないのではないか。</p>				市長
2 市主要事業について	<p>(1) 袋井駅改築事業について</p> <p>ア 国と鉄道事業者の争点は何か。</p> <p>(ア) 国の(案)による袋井駅改築のJRの負担額はどうか。</p> <p>(イ) 自由通路の道路認定の問題点は何か。</p> <p>イ JRとの覚書の効力と、その見直しの見通しはどうか。</p> <p>ウ 現時点での建設開始時期・完成時期の見通しはどうか。</p> <p>エ 他事業への影響はないか。</p> <p>オ 改めて市民・地元への説明は必要ないか。</p> <p>(2) 国本地区商業地開発について</p> <p>ア 事業おくれの原因はどこにあると考えるか。</p> <p>イ 市として、改めて同地区開発の必要性と、導入機能を具体的にお示し願いたい。</p> <p>ウ より厳しくなった「27号計画」による農用地除外手続きの可能性についての認識を問う。</p> <p>エ 来春開設「ららぽーと磐田」の本市への影響の予測はされているか。</p> <p>オ 開発中止の判断をすべきではないか。</p>				市長

質問順序	4	議席番号	10	質問者	高橋 美博
主 題	要 旨				答弁者
2 市主要事業について	(3) 小笠山山麓工業用地開発について ア 今年度の開発可能性調査予算の執行状況はどうか。 イ 問題点への認識、今後の見通しについてどうか。 ウ 開発範囲、手法の見直しは必要ないか。				市長

質問順序	5	議席番号	1 1	質問者	広岡宥樹
主 題	要 旨				答弁者
1 地球温暖化防止について	<p>(1) 地方自治体の取り組み</p> <p>ア 国・企業が経済原理にこだわる状況のもとでも、地方が地方として国際機関の警告を重く受けとめ、地球環境を守る具体的アクションを起こすことを求められているがどうか。</p> <p>イ 袋井市における温室効果物質の排出量掌握を今後どのようにしていくか。</p> <p>ウ 2008年～2012年の京都議定書第一約束期間の削減目標、2020年までの中期目標は市として持てる見込みはあるか。(企業・公共部門関連、家計関連それぞれに)</p> <p>エ 市内におけるCO₂吸収能力は掌握できているか。</p> <p>オ 開発行為、建設行為と環境保全(CO₂等削減)とどう両立させ得ると考えるか。</p> <p>カ 再生可能な自然エネルギーの多角的取り入れについての志はどうか。</p> <p>キ 市民の温暖化防止意識啓発、行動促進の継続的キャンペーンを行政として多面的に行っていくことを強く望むがどうか。</p> <p>ク 戦争が現に地球環境の汚染源となっている。非核平和都市宣言で市としての姿勢を明示することはどうか。</p>				市長
2 教育問題について	<p>(1) 新学習指導要領をめぐって</p> <p>ア 市内小中学校における長期休業短縮の実態はどうか。</p> <p>イ 長期休業の意義の変化の有無と今後の見通しはどうか。</p> <p>ウ 「学力低下」と「ゆとり」・時間数減との相関関係の有無についてどう考えるか。</p> <p>エ 移行措置との絡みで、総合的な学習の見通しはどうか。</p> <p>オ 市内の小・中学生の実態から算数・数学、理科の時間増は不可欠と判断されるか。</p> <p>(2) 学校司書の増員を。</p> <p>ア 配置についてこれまでの評価はどうか。</p> <p>イ 配置人数増、できるだけ早い全校配置を望むがどうか。</p>				教育長

質問順序	5	議席番号	1 1	質問者	広岡宥樹
主 題	要 旨				答弁者
2 教育問題について	ウ 正規雇用すべき、不可欠の職種と考えるが、その方向で改善できないか。				教育長

質問順序	6	議席番号	1 2	質問者	戸塚文彦
主 題	要 旨				答弁者
1 医療	(1) 一次救急医療体制 ア 袋井市における救急医療体制の基本的考え方は。 イ 袋井医師会対応の平日夜間一次救急医療の今後の見通しは。				市 長
2 福祉	(1) 国民健康保険の未納者対策 ア 国保加入世帯数は。 イ 2年以上の未納世帯数は。 ウ 短期保険証・資格証明書交付世帯数は。 エ 上記ア、イ、ウについてそれぞれ中学生以下の子供数は。 オ 未納者対策と未納のため、医療費が全額自己負担となる世帯の子供の医療と医療費対策は。				市 長
3 防災	(1) ゲリラ豪雨対策 ア 避難勧告、避難指示はどのタイミングで決断するのか。 イ どういう方法で関係住民に的確に伝えるのか。				市 長
4 環境	(1) 粗大ごみの不法投棄対策 ア 不法投棄をどのような方法で把握し、年間件数はどのくらいか。 イ どういうものが多いか。どこの地域のどういふ所に多いのか。 ウ 不法投棄物の撤去費用は年間どれくらいか。 エ 不法投棄を減らす今後の対策は。 (2) アスベスト問題 ア 対象者は何人で、最終的に何人が検診を受けたのか。 イ そのうち何人が精密検査を受け、治療を要する対象者は何人か。 ウ 今現在どのような対応をしているか。				市 長
5 開発	(1) 豊沢開発 ア いまだ地権者への状況説明も実施していない。その理由。事業の計画検討は。				市 長

質問順序	6	議席番号	1 2	質問者	戸塚文彦
主 題	要 旨				答弁者
6 記念事業	(1) 記念事業について ア 東海道開通120周年を記念して正岡子規に関する記念行事を開催したらどうか。				市 長

質問順序	7	議席番号	22	質問者	大庭通嘉
主 題	要 旨				答弁者
1 行財政改革	(1) 財政について ア 最近の景気動向の認識と市税収等、今後の自治体財政見通しについて イ 健全化法4指標で確認できた本市の課題、実質公債費比率計算変更で国が意図したもの、本市の適正な実質公債費比率とは。 ウ 4指標の他市との比較分析について エ 健全化指標から推定する本市の適正債務と適正基金とは。 オ 新病院建設基金創設について カ 財政見通し（事業計画）の変更について (2) 人材育成について ア 人材育成基本方針について イ 人材育成の目指す方向性と求められる職員像 ウ 人材育成の諸制度 (ア) 職員採用（平成22年適正化計画に向けて） (イ) 任用制度 (ウ) 人事考課 (エ) 給与制度 (オ) 研修制度 エ モチベーションUP策 アンケート調査・コーチング研修導入等				市長
2 駐車場対策	(1) 二輪駐車場について ア 法改正を受けての二輪駐車場整備方針と新規事業の指針化について				市長
3 警察署問題	(1) 新警察署設置後の体制について ア 新袋井警察署設置後の袋井交番とJR愛野駅前派出所について（交番設置基準） イ 新警察署の規模と併設武道場の設置について ウ 隣接民間施設の扱いについて				市長
4 生活環境	(1) 合併処理浄化槽について ア 公共下水道と合併処理浄化槽の経費（設置・維持）の比較と認識について イ 受益者負担の公平化に向けての制度見直しについて				市長

質問順序	7	議席番号	22	質問者	大庭通嘉
主 題	要 旨				答弁者
4 生活環境	ウ 合併処理浄化槽メンテナンス費用の適正な行政指導について エ 総務省通知に伴う本市への交付税への影響と下水道料金への対応について				市長

質問順序	8	議席番号	9	質問者	浅田二郎
主 題	要 旨				答弁者
1 税金問題	(1) 都市計画税について ア 調整方針検討の進捗状況と今後の対応について イ どのような事業の費用に充てるのか。 (ア) 袋井市のこれまでの対象事業とその額について (イ) 旧袋井市の事業のために旧浅羽町に課税することについて (ウ) 新たに課税するための事業について ウ 課税対象区域について エ 都市計画税の居住用宅地課税標準額が固定資産税の課税標準額より高いことについて オ 旧浅羽町地域への課税について (ア) 新たな負担額はどの程度か。 (イ) 物価高、負担増の中で、新たに課税することについて				市長
2 住宅問題	(1) 雇用促進住宅について ア 国による雇用促進住宅の廃止、入居者の追い出しについて (ア) 入居者の不安をどう認識しているか。 (イ) 居住権を奪う一方的追い出しについて (ウ) 国の廃止の方針について イ 市が譲渡を受けることについて				市長
3 病院問題	(1) 医師確保について ア 「安心と希望の医療確保ビジョン」の評価と今後の医師数の展望について イ 国の政策変更に伴い、病院建設方針の見直しについて ウ 当面の医師確保として、研修医の確保と女医の再就業について				市長

質問順序	9	議席番号	5	質問者	兼子春治
主 題	要 旨				答弁者
1 教育行政	(1) 徳育の推進について ア ヒルズボロ市を訪問し、米国の規範意識をどう感じたか。				市 長
	イ 徳育推進の基本的考えについて ウ 徳育推進袋井モデルについて エ 「学校」「家庭」「地域」の推進方策について オ 従前の道德教育との違いについて カ 成績評価における「行動の様子」の重視について				教 育 長
2 工業振興	(1) 企業誘致 ア 製造品出荷額の推移について イ 小笠山山麓工業団地について (ア) 開発可能性調査の進捗状況について (イ) 開発手法について (ウ) 企業への働きかけについて (エ) 完成年度について ウ 川井・山科地区工業地域の振興策について (ア) 幹線道路の整備について (イ) 工業系の区画整理について (2) 中小企業の立地促進 ア 中小企業の立地促進対策について イ 開発行為の許可基準について (ア) 3千㎡以上の開発行為に対する規制のただし書きの運用について (イ) 市開発行為等事務処理要領の見直しについて				市 長
3 子育て支援	(1) 認可保育所 ア 新設保育所の建設について イ 待機児童の状況について ウ 保育所設置の地域バランスについて エ ゼロ歳児保育の充実について (2) 認可外保育所 ア 認可外保育所への支援について (ア) 待機児童の紹介・あっせんについて (イ) 補助金について				市 長

質問順序	10	議席番号	7	質問者	芝田 礼二
主 題	要 旨				答弁者
1 福祉	<p>(1) 障害者福祉</p> <p>ア 国策ともいえる福祉行政の現状についての見解</p> <p>イ 本市の障害別支援の実態についての対処について</p> <p>ウ 待機中や不足により対象者となっている方の実態は。</p> <p>エ 3障害の一元化の観点から福祉サービス（施設・事業）をどのように再編措置をとってきたのか、またとろうとしているのか。</p> <p>オ 施設入所者が認定区分によっては、施設を出されることについての見解は。</p> <p>カ ケアホームやグループホームなどの福祉施設の充実について</p> <p>キ 生活・自立支援、就労移行支援など本市においての充実を図るべきでは。</p> <p>ク 重度障害者への支援体制の充実を図るべきでは。</p> <p>(2) 乳幼児医療の助成</p> <p>ア 自己負担金を廃止し、入・通院の医療費を小学卒までの無料化について</p>				市長
2 環境	<p>(1) エコタウンふくろい</p> <p>ア クリーンセンター跡地利用で「エコタウンふくろい」としての位置づけの場としての活用はどうか。</p> <p>イ 旧施設の解体費用の概算とその時期は。</p> <p>ウ この地に木質ペレット工場の誘致についての考えは。</p> <p>エ 市内公共施設のA重油の年間使用量と現在価格で換算した金額及び、今後の重油使用施設の木質ペレットへの切り替えについて</p>				市長
3 住民基本台帳	<p>(1) 住基カード</p> <p>ア 普及促進において窓口トークの工夫と広報紙へ促進欄の記載を。</p> <p>イ カード交付手数料を期間を切ったの無料化は。</p> <p>ウ 印鑑登録証としての使用可能性について</p>				市長

質問順序	10	議席番号	7	質問者	芝田 礼二
主 題	要 旨			答弁者	
3 住民基本台帳	エ 証明書の自動交付機の設置について オ 市の施設の割引サービスや市内お買い上げポイントが2倍もらえるサービス提供などについて			市 長	

質問順序	1 1	議席番号	3	質問者	竹原和義
主 題	要 旨				答弁者
1 農業関係	(1) クラウンメロンの危機について ア クラウンメロンの販売戦略について イ 高血圧予防として「クラウンメロン濃縮エキス」の知的ブランド登録及び地域ブランド戦略について				市 長
2 洪水対策	(1) 原野谷川堤防崩落と浸透破堤について ア 原野谷川左岸堤防、長溝地先の堤防崩落の実態調査について イ 崩落現場付近の浸透破堤調査は、今後実施されるのでしょうか。 ウ ハイブリッド堤防（混成堤防）を提案しますがいかがでしょうか。				市 長
3 道路整備	(1) 磐田掛川線の(通称)七曲りにについて ア 磐田掛川線の道路改良として、現道拡幅、バイパスについて、全ての地権者の承諾、もしくは同意が得られているのでしょうか。 イ 自治会の合意など決定事項は、なされているのでしょうか。 ウ バイパス工事の場合、複数の家屋の移転と「理春庵」の移転先は何処に決定されているのでしょうか。 エ 合併後、行政は当該自治会及び地権者に対して説明会等は実施されたのでしょうか。				市 長

質問順序	1 2	議席番号	4	質問者	廣岡英一
主 題	要 旨				答弁者
1 官民協働まちづくり	<p>(1) 官民協働の「民」とは。 ア 行政にとっての協働パートナーとは。 (ア) 市民と市民活動団体の位置づけ (イ) 性格が違う各種市民活動団体の位置づけ及び育成、連携強化策 イ ミッション型、企業市民数の変化</p> <p>(2) 「協働まちづくりに関する指針」の推進 ア 主な実施事業 (ア) 市民まちづくり塾 (イ) まちづくり・人づくり100人委員会 (ウ) まちづくりアドバイザー設置事業 (エ) 協働まちづくり事業 (オ) 協働まちづくり推進委員会 イ 未実施と思われる主な事業 (ア) 協働コーディネーターの育成ほか7方針の現状と事業化予定</p> <p>(3) 協働まちづくりセンター「ふらっと」について ア 協働まちづくりと官民協働まちづくり イ 人材の活躍ステージづくり ウ 今後の施設と運営体制</p> <p>(4) 官民協働まちづくりの推進に向けて ア 指針ではなく事業計画の策定を。 イ 官民協働まちづくりモデル事業の実施を。 ウ 行政事務の棚卸し、公開と委譲を。 エ 市民と職員の協働の徹底を。</p>				市長
2 袋井市の「顔」	<p>(1) 袋井市はどんなまちですか。 ア 即座に、どのように応えられますか。</p> <p>(2) 健康文化都市の顔 ア 15年間にわたる健康文化都市の個性、風格とは。 イ 「顔」として何があり、「顔」づくりをどのように考えますか。</p> <p>(3) 健康文化都市の政策展開 ア 政策体系の策定を。 イ 3つの政策それぞれに鮮やかな実体を。</p>				市長

質問順序	13	議席番号	8	質問者	高木清隆
主 題	要 旨				答弁者
1 農業振興	(1) 農業政策 ア 農産物の販路開拓への取り組みについて (ア) ふくろい銘産品づくりへの取り組みにおける成果と課題について (イ) 行政主導で開催された農産物の販売戦略会議の成果と具体的な取り組みについて (ウ) 袋井市農業振興ビジョン策定への取り組みの組織体制と進捗状況について (エ) ものづくりフェスティバル開催において、地元農産物のPR方法と開催に向けての案内周知への取り組みについて (オ) 市内農業生産法人の組織数と近年のアグリビジネスの動向をどうとらえているのか。 (カ) 販売戦略への行政サイドの積極的な介入が必要と考えるが。				市長
2 住宅政策	(1) 住環境の整備 ア 袋井市住宅アンケート調査への取り組みの考えについて イ 袋井市総合計画政策5施策1の下に位置する住生活基本計画策定の考えは。 ウ 持ち家比率と高齢者のひとり暮らしの比率について エ 高齢者の住み替え支援制度への取り組みをどうとらえているのか。 オ 親元近居支援制度の創設について				市長

質問順序	14	議席番号	19	質問者	大場正昭
主 題	要 旨				答弁者
1 環境衛生	<p>(1) (仮称)市営墓地公園整備事業について</p> <p>ア 基本構想の策定の内容は。墓地に関する市民意識調査の結果はどうか。墓地ニーズの把握や必要区画の数などはつかめたか。</p> <p>イ 当初、14と言われる候補地の開発等に関する各種条件などの結果はどうか。また、その精査の進捗状況は。事業の遂行、対応が思っているか。</p> <p>ウ 有力な候補地とされる地区への説明対応はどうか。理解してもらっていること、今後協議が必要なこと、なかなか理解が得られないことなど、具体的な現在の進捗状況はどうか。また、絞られた候補地5つとは。</p> <p>エ 整備に向けて、今後の予定はどうか。前回、議会に示した期間の中で推進可能かどうか。課題や今後予想される問題は何か。</p> <p>オ 最終的に墓地公園の整備完了は、いつになるのか。「できるだけ早い時期」とは。</p>				市長
2 道路整備	<p>(1) 県道山梨敷地停車場線の川会地区での延長(西進)について</p> <p>ア 磐田市・浜松市浜北区へ通じる道路の延長を望むがどうか。第2東名開通や磐田市内の大型商業施設などの周辺整備も予定されており、我が市としても道路整備が急務と思うがどうか。</p> <p>イ 磐田市側や県道の現在の整備状況や今後の道路計画はどうか。それらを受け、交通量の変化に伴い、さらなる整備計画も必要と考えるがどうか。また、萱間地区から森町へ抜ける道路の整備は。</p> <p>ウ 上記ア、イのことから、浜松市、磐田市、森町、掛川市との期成同盟会を結成して、整備を図っていく考えはどうか。</p> <p>エ 三川地区西山地域の計画との関連が最も深いと考えるがどうか。市としての取り組みは。</p>				市長

質問順序	14	議席番号	19	質問者	大場正昭
主 題	要 旨				答弁者
3 市民の声から	(1) 自主運行バスの路線の見直し ア 地域のお年寄りから要望が強い幕ヶ谷地域（見取・大谷地区）へのフーちゃん号の運行、乗り入れを望むがどうか。交通空白地帯の解消や交通弱者救済の観点から大切かと思うがどうか。				市長
	(2) スポーツの推進 ア 宇刈いきいきセンターで活動する卓球愛好者が多い。さらなる卓球台の増台を希望する声が多い、その対応は。				
	(3) 文化・スポーツを通したまちづくり ア 先生方の負担軽減も含め、中学校部活動などへ専門的な指導者の派遣、外部コーチの招聘について、さらなる拡大を望む声が聞かれるがどうか。物心両面からの支援も必要と思う。学校、地域での文化・スポーツの向上が、ひいては、まちづくりの活性化に有効と思い提言するがどうか。				教育長

質問順序	1 5	議席番号	2 1	質問者	寺井紗知子
主 題	要 旨				答弁者
1 平和	(1) 「平和宣言都市」 ア 非核宣言自治体の仲間入りすることについて (2) 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」 ア 「議定書」と賛同し、署名することについて				市 長
2 農政	(1) 「ジャンボタニシ」の対策について ア 水稲被害の現状と対策について イ ジャンボトラップの活用について ウ 未発生地域への防除について エ 県及び関係諸団体との連携				市 長
3 福祉	(1) 成年後見について ア 市長申し立て要綱の改正について イ 後見人等の助成整備について ウ 成年後見制度利用支援事業の適用範囲の拡大について エ 相談業務に対応できる専門的人材及び第三者後見人の確保について オ 広報・普及活動の実施				市 長
4 地上デジタル放送	(1) 地上デジタル放送への移行について ア 公共施設へのデジタル化対応について イ 低所得者世帯などへのアンテナ設置費用助成について ウ 市民への周知について				市 長

質問順序	16	議席番号	1	質問者	木村 松 尚	
主 題	要 旨					答弁者
1 公園整備	(1) 久野城址の公園整備 ア 計画、規模の説明について (ア) 地元住民、自治会、保存会への説明は。 (イ) 自治会の要望 (ウ) 市内外へのPRは。 (エ) 周辺整備の計画は。 イ 公園南側の遊水池整備について (ア) 遊水池としての効果は。 (イ) 公園の一部としての景観は。					市長
2 教育施設整備(袋井北小学校の施設整備について)	(1) プール建設 ア 建築時期の計画について (ア) 工事期間とその影響は。 (イ) プール移設跡地の利用は。 (2) 校庭への芝生の植栽 ア 児童の遊び場としての考えは。 (3) 児童数の推移について ア 現在より児童数が増加したときの対応は。 (ア) 校舎の増築か学区の変更かの選択は。 (イ) 5年10年後の児童数の予測は。					教育長
3 農業問題	(1) 原油値上げの対応について ア メロン栽培農家への支援について (ア) 暖房費の重油値上げへの対応策は。 (イ) 重油以外の暖房施設導入に対する支援は。 (ウ) 生産量減少に対し、産地としてどのように対応していくか。					市長
4 寄附金税制	(1) ふるさと納税について ア 市としてのPRは。 イ ふるさと納税の実態は。 ウ 納税者に対し、特産品等の贈呈の考えは。					市長